

総領事からの活動報告(州都タラハシからジャクソンビルへ)

2012年2月12日
在マイアミ日本総領事
川原 英一

州都タラハシでの対外貿易・対内投資促進セミナー

2月7-8日の両日、フロリダ北部にある州都タラハシの州立大学コンファレンスセンターにおいてフロリダ商工会議所主催、フロリダ州政府後援による対外貿易促進、対内投資促進を目的としたセミナーがあり、マイアミの領事団の一人として当方も招かれ、参加しました。

経済開発公社・フロリダ観光公社など州政府関連の貿易・投資・観光促進機関とフロリダ



州内各地の有力企業や商工会議所メンバー間のネットワークづくりを行う会議でもありました。スコット知事は、選挙公約である7年間で70万人の雇用促進のため、昨年、自らが経済ミッションを率いて、ブラジルとカナダを訪問しています。このセミナーの機会に当方は旧知のハイザー・ペンサコーラ湾地域商工会議所会頭やマクリーン・ジャクソンビル商工会議所国際部長などにもお会いし懇談することが出来ました。

2月7日夕、リック・スコット州知事公邸では、領事団及び州内各地商工会議者・有力企業メンバーを対象としたレセプションが(左上写真の中央の方が、スコット知事)ありました。同知事公邸でのレセプション会場では、当方が小学生の頃に習った日本の名曲「桜」の曲を、年配の米国人女性の方が、しばしの間、ハープ演奏をされており、このようなところで日本の古い音楽を聴ける機会があったことを、とても印象深く感じました。

スコット知事に当方から御挨拶した折には、昨年11月中旬の和歌山県仁坂知事がタラハシを訪問した時のことについて、又、ジェニファー・キャロル副知事(Lt. Governor)、グレイ・スウープ商務長官兼経済開発公社総裁とは、今年9月中旬に東京で開催予定の日本・米国南東部部会合同会議(1975年以来、日本経団連傘下の企業団体と米国南東部7州の経済界人との会合をほぼ毎年相互に開催している)へのフロリダ州としての対応、そして、昨年3月11日に起き、間もなく一年が経とうとしております東日本大震災後の復興の様子、さらに、日本から米国市民への桜寄贈100周年活動の話などを話題としました。スウープ商務長官の御嬢さんは、ミシシッピ州の桜プリンセスに選ばれており、4月にワシントンで開催される桜祭りでの桜女王のコンテストに参加予定であると同長官が誇らしげに語っておられました。また、キャロル副知事(上の写真



で右側の方は、20年間、米海軍での勤務経験がおありで、フロリダ宇宙局(Space Florida)の座長(Chair)としても、現在、活躍中です。昨年には、EUへの宇宙関連ミッション団長、また、南アフリカへの経済ミッションに団長として行かれております。同レセプションでの副知事のスピーチは、なかなか迫力ある堂々としたものでした。

◎ジャクソンビル経済界人との懇談

2月8日午後、州都タラハシから東に2時間半ほど車で高速道路を走り、ジャクソンビル市を訪問し、同市の経済界人の方々と懇談する機会がありました。米国南東部会フロリダ支部・会長のジョージ・ゲーベルさん(海運保険関連の大手法律事務所所属)、商船三井が3億ドルを投資したコンテナ専用埠頭を運営する100%子会社であるトラ・パック(TraPac)の副社長、日本との取引も多い当地ロジスティック大手企業ランドスター(Landstar)の幹部、ブリジストン・ファイアストーン流通センター総支配人、心臓ペースメーカーなど医療機器の著名当地企業(Medtronic)の幹部の方々と楽しく懇談が出来ました。中には、仙台に英語教師として1年間勤務した経験があり、今も日本関係企業と多くの取引をされておられるスコット・エルダーさん(メトロニック)がおりました。今後もジャクソンビルでこのような経済界人との交流の機会を持つことになりました。



■ブリジストン流通センター(ジャクソンビル)訪問

2月9日、ジャクソンビル市西部にある工業団地の一つに広大な敷地(67エーカー)



を有するブリジストン流通センターを訪ねました。広大な倉庫(約100万平方フィート)内を電気カートで移動・見学しました。自動車や大型トラック・バスなどのタイヤが、壮大な敷地の倉庫内に整然と山のように積み上げられており、運搬用トレーラーへのタイヤ搬出作業を見せてもらいました。社内事務棟の入り口近くの廊下の壁の目立つところには、ブリジストンの社訓が英語と日本語

でかかげられておりました。約4年前、ジャクソンビルが港及び高速道路網を備えており、戦略的拠点としての立地条件が良いことにブリジストンが注目して、流通センターを設置したとのことでした。また、流通対象範囲としては、米国南東部でのタイヤ需

要への対応(全体の 3 分の2)やブラジルなど中南米向けにもタイヤを供給しており、日々、活発な商談がある様子です。同センターは、地域の福祉活動や雇用面から地元経済へ大きく貢献をしています。

◎北フロリダ大学ゴンザレス副学長等との懇談:

昨年 11 月にもこの大学を訪問したのですが、今回も同大学ゴンザレス副学長及び同大学国際センターのロビンソン所長とお会いして、上智大学との学生交流計画、大学内に学生組織(Student Government)が自ら資金を蓄えて、大学の施設運営計画に関与しているお話などを伺いました。また、同副学長にお話によれば、3. 11の震災後、日本支援の義援金を大学で集めて、米赤十字社へ委託した話もありました。

注目されたのは、同大学には、大学側経営人から独立した学生組織があり、自らの決定機関である学生代表による代議員会(Senate)の立派な会議施設や同組織役員の方に御紹介を頂きました。年々、州政府から各公立大学への支援予算額が減少する中、この大学では、大学運営にも学生組織が資金面も含めて経営に深く関与し、また、独立した活動をしていること、学生組織の長は、学部学生ですが、州内や州都での学生組織間の連携活動にも積極的に参加・連携をしており、他方、学生として必要な単位履修もしっかりしており、極めて多忙な毎日を送っているようでした。翌週に、当総領事館が企画した日本映画の上映会を予定している大学内の立派な劇場も拝見しました。これらも学生組織が運営する大変に立派な施設でした。また、同大学の語学学習施設を、週末に開かれるジャクソンビル日本語学校の幼稚園児から小学3年生の児童までが利用できるように手配したいとの好意のお話がロビンソン同大学国際センター所長からありました(右上写真:ジャクソンビル日本語学校関係者の皆さんと)。(了)

